

① <sup>ぶん</sup>文を<sup>よ</sup>読みながら「あ・い・う・え・お」に○（まる）をつけましょう。

おしりのかたちのかおでおなじみのおしりたんていは、にせんじゅういちねんにあいぱっどのこどもむけのえほんあぶりとしてとうじょうしました。

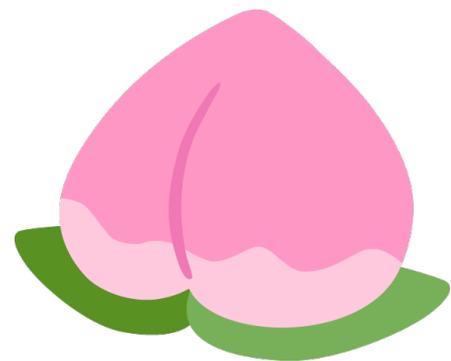
にせんじゅうはちねんからは、えぬえいちけいで、おしりたんていのてれびあにめがほうそうされはじめました。ものがたりでは、おしりたんていのじょしゅのぶらうんとともに、さまざまななんじけんをかいつしていきます。

おしりたんていのくちぐせは「ふーむ、においますね。」です。また、はんにんをおいつめるときのひっさつわざとして「しつれいこかせていただきます。」とって、きょうれつなにおいをはなちます。

② それぞれの<sup>かな</sup>仮名の<sup>かず</sup>数を<sup>かぞ</sup>数えて、<sup>すうじ</sup>数字を<sup>か</sup>書きましょう。

あ	い	う	え	お
<input type="text"/>				

③ <sup>なに</sup>何について<sup>か</sup>書かれた<sup>ぶん</sup>文でしたか？<sup>おし</sup>教えてください。



..... 折り線 .....

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい） 課題プリント その9 - あ行編

答え ② あ：3 い：16 う：8 え：3 お：10

③ おしりたんていについて書かれた文。など